

三、營業不振組織ノ改善
工場ノ作業狀況右ノ如ク請負ヲ以テ委託工業ヲ引受クル當社ノ營業ハ漸次不振ニ陥レリ、是ガ責任ハ必ズシモ職工ノ方面ノミニ科スベキニ非ズト信シ先ヅ經營組織ノ改善ヲ試ミ在職博方館印刷所ト精美堂トヲ合併シ共同印刷株式會社ト改稱シ重役ノ改選減員社員ノ一部淘汰ヲ行ヒタリ

四、工場閉鎖ニ至ル経緯
イ、直接動機
機械、鑄造、貯品三科ノ整理問題ハ昨年来ノ懸案ニテ機械科ノ如キ新規注文ナキモ職工ヲ遊バセザランガ爲毎月倉庫品ヲ製セシメ鑄造科ノ如キ平日ノ仕事スラナキヲ一日ニ延ビシテ作業スル状態ナルヲ以テ従業員モヨク遺憾ノ事情ヲ熟知シ本月八日各科監督者ト協議ノ結果ニ依ル經營短縮案ニ對シテモ大體不得已モノトシテ容認セリ然ルニ組合幹部ハ之ヲ以テ更ニ三科ノ問題ニ非ズトナシ能率増進委員會ノ開催研究ヲ求メタリ會社ハ之ヲ許可シ其提案ヲ待テツ、アル間一部ノ者ハ煽動ヲ開始シ三科先ヅ食業状態ニ入り出四労働組合、無産青年同盟ハ決議文ヲ提出シ工員大會ヲ開クナド不穩ノ兆アリ會社ハ委員會ノ提案ヲ待ツ爲隠忍シテ他科ヲ鎮撫シ作業ヲ續ケタリ

十六日委員ノ提案ヲ以ルニ三科ノ過剩員五十九名ヲ各科ニ振當配置セントスルモノニシテ、サナキダニ過剩員ヲ擁スル各科ノ忍ビ得ザル所又作業ノ性質ヲ異ニスル他科ニ於テ高給ナルモ熟練職工ヲ容ル、餘地ナク各科受持職工長等ト協議銜衡ノ結果漸ク内十七名ヲ振當テ十九日ヨリ實行スベキ旨ヲ發表シタリ

十九日更ニ職工代表ヨリ別案トシテ營分鐵工ノ内行五割歩増ノ内三割ヲ減ジ二割ヲ定給ニ差入ル、コト、鑄造賃金一割ヲ減ジ九時間労働トナスニトテ別案ニ來リタレ共一ハ定備賃金ノ値増一ハ八時間労働主張ノ前提ト認メラレ且ツ能率増進ノ趣旨ニ反シ會社ノ利害ト相隔ルヲ以テ之ヲ拒絶セリ

茲ニ於テ彼等ハ直ニ工場一部ヲ占領シ、夜間ニ涉リ職工大會ヲ開催シ會社ニ對シ示威運動ヲ始メタルニ付二十日朝ニ到リ作業ノ危険ヲ慮リ不得已臨時休業ヲ發表スルニ到レリ

職工代表ハ二十日午後左ノ要求ヲ提出シ來レリ

- 1 三科ノ從前通り作業ノ繼續
 - 2 重役及幹部社員ノ排斥
 - 3 舊精美堂ニ於テ舊各工長ニ對シ暴行ヲナシタル爲メ舊職撤首セラレタル四名ノ復職
 - 4 賃金月末一日前支拂
 - 5 忌引期間中日給全額支拂
 - 6 新共濟會規約ノ實施
 - 7 工場規則作製ニ職工代表參加
 - 8 産前産後四週間日給全額支給
 - 9 本爭議期間中日給全額支給
 - 10 本爭議ニ關シ犧牲者ヲ出サザルコト
- ハ、會社ハ今日迄彼等ノ行動ニ依リ營利事業トシテ立チ行カザル状態ニ迄陥リ居リ且近ハ彼等ノ要求策動アル毎ニ此上ハ最早閉鎖ノ外ナキ旨ヲ言ヒ含メ來タレルニ不拘反省ノ色ナク終ニ重役ノ進退ニ迄突撃スルニ至リテハ餘議ナキ次第ニ付最後ノ決心ヲナシ善良ナル職工ニ對シ又得意先ニ對シ、一般社會ニ對シ忍ビ難キモノアレ共斷然閉鎖ノ外ナキニ決シ二十一日全員解僱ノ通知ヲ發スルニ至レリ
- 五 其他

労働部 第二二 号

大正十五年一月九日

警視總監 大田 政 弘

内務大臣 若槻禮次郎 殿
東京警備司令 官 殿
社會局長 官長岡隆一 殿
憲兵司令 官 殿
京都大阪神奈川愛知兵庫
福岡各府縣 知事 殿
東京地方裁判所檢事正 殿